

コウチュウ目貯穀害虫3種の成虫の越冬と寿命

研究の特徴

- ・コウチュウ目の貯穀害虫には成虫の寿命が長い(半年以上生存する)ものがある。
- ・コクゾウムシでは水を与えないと越冬できなかったが、水を与えると2/3以上が越冬。
- ・ココクゾウムシは水の有無に関わらず越冬できなかったが、コクヌストモドキでは水の有無にかかわらず少数が越冬できた。

研究の内容

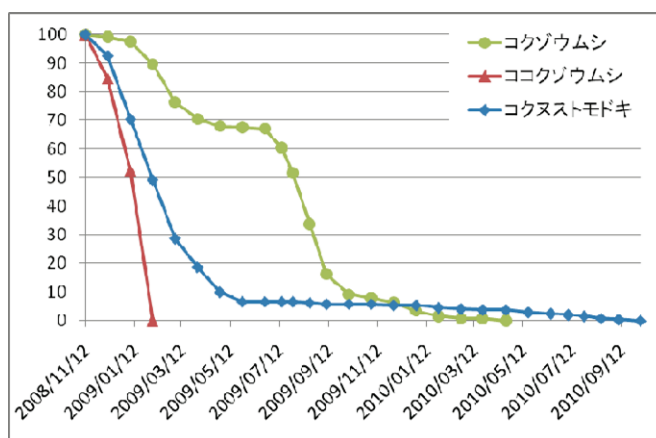
- ・同じコウチュウ目の貯穀害虫でも越冬の生態は大きく異なることが明らかになった。
- ・コクゾウムシ成虫は約520日、コクヌストモドキの成虫は約700日生存した。
- ・コクヌストモドキ成虫の越冬には馴化、休眠誘導条件の影響が大きい。



コクゾウムシ(左)、ココクゾウムシ(中央)、コクヌストモドキ(右)の成虫



実験場所(食総研内に設置したスチール製倉庫)



水を与えた場合の成虫の生存率

今後の展開

越冬の条件を詳細に調査し、生態を解明する
また生態に基づいた防除法を考案する

参 考

- ・松阪ら(2009)家屋害虫, 31: 27-36
- ・今村ら(2010)家屋害虫, 32: 51-57
- ・今村ら(2011)ペストロジー, 投稿中



農研機構
食品総合研究所



代表研究者: 今村太郎
所 属: 食品安全研究領域
食品害虫ユニット

問合わせ先: 029-838-8081 taroi@affrc.go.jp